

## つくば分館の展示について

国立公文書館 つくば分館

国立公文書館つくば分館は、昭和46年に開館した国立公文書館が手狭になったこともあり、平成10年に茨城県つくば市の研究学園都市内に設置された。学園都市の研究機関の中では比較的新しい機関の一つである。

つくば分館の業務は、歴史公文書等の受入れ、移管文書のくん蒸、目録作成や受入れ公文書の閲覧、原本保護のためのマイクロフィルムの撮影、展示会の開催などがある。今回は、このうち分館での展示関係の紹介を行うこととする。

つくば分館は、広く一般の方々に当館所蔵の公文書等を見ていただく手段として常設展示室を設け、多くの人に利用していただいている。そのほか、毎年夏季に企画展を開催している。夏の企画展は、平成15年につくば市が推進する「つくばちびっ子博士」事業（つくば市内の小中学生を対象とし、研究学園都市内の研究・教育機関等において科学技術などに直に触れることにより、科学に対する関心を深め、夢と希望に満ちた未来を考える手がかりとすることを目的とする）に協賛して以来、今年で4回目を迎えた（第2回 江戸の怪、第3回 「鉄道」）。今年も平成18年7月18日（火）から10月6日（金）までの夏休みの期間（土日祝日を除く）を中心に、夏の企画展を開催した。

### 1. 今年度の展示

今年の展示は、本館開催の平成17年春の企画展「将軍のアーカイブズ」展と、つくば分館の所在地が茨城県であるという地域性を考慮し、水戸藩2代藩主・徳川光圀が設立した彰考館を水戸藩のアーカイブズととらえ、茨城県立歴史館が所蔵する彰考館関係の資料を紹介する「黄門様のアーカイブズ」展とをあわせて開催した。「黄門様のアーカイブズ」展は、8月7日（月）から10月6日（金）までの開催期間とした。

### 2. 展示内容

「将軍のアーカイブズ」展は、江戸幕府の歴代将軍や藩主たちが古今の資料を真剣に収集し、治世の鑑としたことを紹介すると同時に、日々の営みを的確に記録、収集、保存することの意義を来館者に認識してもらうことを目標とした企画であり、本館開催時の展示資料を活用した写真パネルによる展示とした。展示は、写真パネルとともに

に新たに作成した解説文、読み下し文、訳文をいずれもふりがなをつけて示し、小・中学生の学習のヒントとなるよう「何が書いてあるの?」という欄を設け、資料の来歴、概要等をわかりやすく説明することを心がけた。展示資料は、下記の7コーナー、計40点とした。

### (1) 将軍のアーカイブズ

徳川家康の愛読書 3点 (『吾妻鏡』ほか) 家康の出版事業 7点 (『伊勢物語』ほか) 徳川吉宗の閲覧資料 7点 (『明状元図考』ほか) 漢籍の輸入 4点 (『唐蛮貨物帳』ほか) 研究する将軍 11点 (『普救類方』ほか) 綱吉と家治 (儒学と将棋) 3点 (『四書集註』ほか) 紅葉山文庫の人々 5点 (『御書物奉行誓詞』ほか)



将軍のアーカイブズ展示風景



黄門様のアーカイブズ展示風景

「黄門様のアーカイブズ」展は、彰考館を水戸藩のアーカイブズと位置づけ、『大日本史』の編纂事業のみならず水戸藩の北方対策等において大きな役割を果たしたことを紹介し、幕府における紅葉山文庫と同じように地方の一番も独自のアーカイブズを備え、よりよい治世をめざした姿を紹介したものである。展示は、茨城県立歴史館のご厚意により3点の版本をお借りして展示したほか、4点の絵画資料を含む9点を写真パネルにより展示した。

### (2) 黄門様のアーカイブズ

#### ・『大日本史』の編纂事業

『大日本史』 『扶桑拾葉集』 『参考保元物語』 (以上原本による展示)

#### ・異国船来航と北方対策

水府湊沖江来舶之全図 水府湊遠沖来着之狄舶全図 イギリス人全図  
イギリス人二人の図 『海寇始末』

#### ・彰考館総裁・豊田天功の事績

『北島志』 書籍代価調書 史館人事につき申出書下書 聖堂書籍筆写  
御用のため豊田小太郎の滞在延期願書下書

### 3. 企画展の反応

見学者の反応は、「記録を残すことの大切さを認識した」、「つくば市内に歴史的な公文書が保存されていることを知り驚いている」、「子供向けの解説があってはじめて何を言っているのかわかった」、「このような施設があるならもっと存在を知らしめるべきだ」など、PRを充実させるべきなどのご意見や叱咤激励をはじめ、おおむね好意的なものが多く、今後の展示の参考となる多くの有益かつ貴重なご意見をいただいた。

なかでも地元のアーカイブズを紹介した「黄門様のアーカイブズ」展は、地元ゆかりの人物に光をあて、予算をかけずに手作り風の展示としたことで、かえって「好感がもてる」などの好印象を寄せていただいた。今回の展示は、地元の人々に地域の歴史を紹介するという地元に着した地域アーカイブズの役割を自覚し、工夫次第で地域の文書館等との協力体制を築きながら企画展を開催することが可能であるという実績を示すよい機会となったと考える。



企画展を見学する親子づれ



高校生の見学（企画展）

### 4. 今後の展望

今年度の展示は、「将軍のアーカイブズ」という大人好みのテーマであったため、小中学生が多く来館する夏季に開催することに一抹の不安もあったが、つくば分館が筑波研究学園都市の一番北の外れにあるという地理的に不利な条件にもかかわらず多くの見学者を集め、夏休み期間終了後も来館者があり、これまで以上に多くの見学者にきていただいたことで当初の狙いがある程度達成されたことに安堵している。

つくば分館は、貴重な公文書をただ保管するのみならず、こうした企画展などを通してできるだけ多くの国民に公文書館の役割の重要性を紹介することに努めたいと考

えている。今後は、過去の展示会や見学者の意見等も参考にしながら、地域に根ざした企画展の開催、ならびにより充実した常設展示のための工夫に取り組んでいきたい。

特に、近隣の高校等が課外学習に筑波研究学園都市の研究機関を団体で見学に訪れることが多くなり、今後ともこのような機会を利用して、できるだけ若い層にも公文書の保存・管理などの重要性を理解してもらうよう努めたい。



高校生の見学（閲覧室）



高校生の見学（マイクロリーダー）



つくば分館案内図

交通案内

つくばセンター（つくば駅）から約12km

バス（つくばセンター1番バス乗り場）

テクノパーク大穂行き約30分 「上沢」下車徒歩約15分